

## 平成 25 年度事業報告

### (1) 糖尿病の予防及び治療に関する正しい知識の普及啓発事業

#### 1-1 「糖尿病ライフさかえ」の発行

協会誌として様々な企画を盛り込みながら、親しみやすい内容で糖尿病の治療に関する正しい知識の啓発を行った。

#### 1-2 糖尿病関連書籍の発行

「糖尿病食事療法のための食品交換表」、「糖尿病食事療法のための食品交換表活用編」、「糖尿病性腎症の食品交換表」、「糖尿病治療の手びき」を発行した。

#### 1-3 全国糖尿病週間の実施

平成 25 年 11 月 11 日(月)から 17 日(日)までを全国糖尿病週間とし、「糖尿病 正しい知識で 予防と治療を」のテーマのもと、日本糖尿病学会との共催、厚生労働省、日本医師会、日本放送協会、日本糖尿病財団、日本歯科医師会の後援を得て、全国各都道府県糖尿病協会を中心に糖尿病に関する講演会、血糖測定、医療相談、栄養相談の事業を実施し、約 20,000 名の参加者があった。

#### 1-4 糖尿病シンポジウム等のイベントの実施

- ・山口 (9 月 29 日)、山梨 (11 月 10 日)、において、糖尿病シンポジウムを開催し、延べ 800 名以上の来場者を迎えた。マスコミ (山梨日々新聞) の協力を得て、当協会の事業内容の周知を図るとともに、糖尿病に関する正しい知識の啓発を行った。
- ・日本糖尿病財団との共催により、高知 (12 月 15 日)にて糖尿病予防キャンペーンを開催、延べ 800 名が来場した。
- ・企業委員であるサノフィ (株) と共催で「ヘモグロビン・エー・ワン・シー認知向上運動 2013」開催した。広島 (6 月 16 日)、長野 (6 月 30 日) で市民を対象に、糖尿病の予防・普及啓発の一環として実施し、街頭イベントを通じて HbA1c の知識の向上や重要性を訴求した。合計で 1,500 人が参加した。また、メディアフォーラムを開催し、啓発記事の継続的な発信を通じて幅広い啓発を行った。
- ・糖尿病運動療法として患者さん家族を対象に「体がよるこぶ健康いきいき体操」を、日本イーライリリー (株) との共催で全国 3 か所 (東京・福井・京都) で実施した。
- ・運動療法としてウォーキングを楽しみながら糖尿病の正しい知識を身につけることを目的として、ノボノルディスクファーマ(株)と共催で、全国 49 か所でウォークラリーを開催した。

#### 1-5 世界糖尿病デー関連のイベントの実施

11 月 14 日に第 7 回「世界糖尿病デー」のイベントとして、都道府県糖尿病協会を中心に国内 146 ヶ所、また世界で約 1,000 ヶ所のモニュメントがブルーにライトアップされた。また、各地で街頭イベント(血糖測定・ウォーキング)・講演会等を実施し、全国で世界糖尿病デーの啓発事業を行った。

#### 1-6 Team Diabetes Japan

国内外7か所のマラソン大会に参加し、糖尿病の予防や治療についての啓発を行った。

- 1-7 療養指導者向け雑誌「DM Ensemble」の発行  
糖尿病療養指導者（主に日糖協登録医、歯科医師登録医、コメディカルスタッフ）を対象とする糖尿病治療の最新情報を提供する「DM Ensemble」を季刊で年4冊発行した。また、雑誌と連携するウェブサイト(DM Ensemble オンライン)も立ち上げ、情報の発信と共有を図った。
- 1-8 登録医・療養指導医・歯科医師登録医制度の展開  
日糖協登録医が1,982名となり、登録医から療養指導医への昇格者も430名となった。また、日糖協歯科医師登録医の登録数が4,015名となった。
- 1-9 日糖協CDEネットワークの構築  
糖尿病チーム医療の推進のため、全国のCDEL組織の活動の支援を行った。先行する地区の組織運営に関する情報や認定のための試験問題を収集し、希望する団体への提供を行い、申請のあった15団体に助成を行った。
- 1-10 糖尿病カンパセーション・マップ™を活用した療養指導の普及  
IDFが推進する糖尿病教育用「糖尿病カンパセーション・マップ™」の普及を図る目的で、イントロダクション・トレーニングを全国10ヶ所（京都・石川・愛知・岡山・東京・大阪・鹿児島・福岡・宮城・北海道）で開催した。本年の講習会では、1講習につき、1枚のマップを学習する形式とした。また、フォローアップ講習会を1カ所（東京）で開催した。
- 1-11 日糖協療養指導学術集会の開催  
7月27・28日に京都で第1回日本糖尿病協会療養指導学術集会を実施した。1,069名の参加を得た。スモールグループディスカッションでは、12テーマ、100グループに分かれての議論を展開した。

## (2) 糖尿病の予防及び治療に関する調査・研究事業

- 2-1 インスリンアナログ混合製剤1日2回投与あるいは持効型溶解インスリンアナログ製剤1日1回投与によるインスリン導入の検討  
学術委員会で解析作業を行った。
- 2-2 経口糖尿病治療薬(インクレチン関連薬を含む)投与に関する実態調査研究(UNITE Study)  
中間解析結果を第56回日本糖尿病学会年次学術集会にて発表した。
- 2-3 65歳以上の高齢者2型糖尿病における、シタグリプチンあるいはグリメピリドによる有効性及び安全性に関する比較検討試験 (START-J)  
症例登録を完了し、2年間の追跡期間中である。  
中間解析結果を第57回日本糖尿病学会年次学術集会に演題登録した。
- 2-4 トホグリフロジンの安全性および有効性の検討-前向き観察研究- (AYUMI)  
新規に研究実施計画書を作成し、登録開始に向け準備を行った。
- 2-5 インスリン注入器の仕様共通化および血糖自己測定機器も含めた適切な使用手技の普及に向けた活動  
新規インスリン注入器と針の適合性を確認した。
- 2-6 日本における糖尿病の予防・治療・療養指導に関する研究に対する助成。

申請課題より 10 題を採択し、助成を行った。

### (3) 糖尿病の患者及び家族に対する療養指導事業

#### 3-1 糖尿病友の会の活動支援

全国の支部を通じ、糖尿病友の会の活動の支援を行った。

#### 3-2 糖尿病療養に役立つグッズ、冊子類の発行

製薬企業等の協力を得て、糖尿病連携手帳、自己管理ノート、ID カード、英文カード、療養に役立つグッズの製作・頒布を行った。

#### 3-3 1 型糖尿病対策

##### ・小児糖尿病サマーキャンプの支援

小児 1 型糖尿病患児にインスリン自己注射や血糖自己測定などの正しい治療方法や食事療法、運動療法を習得させ、充実した日常生活を送ってもらうことを目的に、小児糖尿病生活指導講習会(サマーキャンプなど (50 ヶ所) を TOOTH FAIRY プロジェクト (日本歯科医師会と日本財団) の助成金を受けて開催した。

##### ・第 12 回全国ヤング DM カンファレンスの開催 (茨城県担当)

高校生以上の 1 型糖尿病患者を対象にした「第 12 回全国ヤング DM カンファレンス」を茨城県つくば市で開催し(10 月 19 日 - 20 日)、延べ 500 名参加)、1 型糖尿病の若者が抱える種々の問題点の解決や 1 型糖尿病の認知度を向上させるための社会啓発の方法について討議した。

### (4) 糖尿病に関する海外関係団体との連携事業

#### 4-1 IDF-WPR、IDF

・オーストラリア、メルボルンで開催された IDF Congress 2014 に代議員を派遣し、総会や地区会議に参加した。

・IDF Congress の Global Village において、日糖協の活動をパネル展示や英文パンフレット配布を通じて紹介した。

・IDF Congress にあわせて患者交流ツアー (12 月 1 日 - 6 日)

#### 4-2 AASD

事務局業務の支援を行った。

### (5) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

#### 5-1 会員増強

協会案内、入会申込チラシ、「友の会」案内、さかえチラシを制作し配布を行った。

#### 5-2 他団体との連携

##### ・CDEJ および CDEL 組織との連携強化

各地の CDEL 組織 15 か所に補助金を支出、認定試験問題や規約類の提供などを通じて支援を行った。

##### ・日本歯科医師会との連携強化

歯科医師登録医の更新期に際し、日本歯科医師会と連携し更新手続きを促進した。

日本財団を通じて、日本歯科医師会が実施する TOOTH FAIRY プロジェクトから、小児糖尿病サマーキャンプへ歯科医師派遣を受けた。

- ・日本糖尿病対策推進会議への協力

治療中断を阻止するためのポスターを配布し、啓発を行った。

- ・日本介護支援専門員協会との連携強化

医療と介護の連携を目指して、要介護支援症例に携わるスタッフの糖尿病勉強会（東京都目黒区、品川区）を実施した。また、情報交換をおこなうための糖尿病情報連携プラットフォームを作成した。

### 5-3 災害時危機管理対策

インスリン処方薬の薬袋に防災意識を啓発するミニチラシを同封する取り組みを、北海道札幌市・旭川市、群馬県、鳥取県で実施した。

### 5-4 広報事業

- ・プレスリリース（6回）発信
- ・日糖協ホームページを一新し、より見やすく情報を探しやすいページに変更した。
- ・日糖協 facebook ページで毎日糖尿病に関する情報を発信した。

## (6) 業務の適正を確保するために必要な体制の整備

- ・平成25年4月1日の公益社団法人移行に伴い、定款及び下表の各規則（\*を除く）を施行した。
- ・平成25年4月6日の第1回通常理事会にて\*印記載の規則を追加した。
- ・平成25年4月6日の第1回通常理事会にて\*\*印記載の規則を修正した。
- ・平成25年5月19日の定時総会にて\*\*\*印記載の規則を修正した。
- ・平成25年10月12日の第2回通常理事会にて#印記載の規則を修正した。

会員に関する規則	職務権限規則#	事務処理規則#
会費に関する規則	役員報酬規則***	公印規則#
代議員選挙規則	役員等の費用弁償に関する規則	情報公開規則
役員候補者選任規則	就業規則#	会計処理規則#
総会議事運営規則#	嘱託職員及び臨時職員就業規則	財産管理規則
理事会議事運営規則	育児・介護休業規則#	財産運用規則
監事監査規則	給与規則#	寄附金等取扱規則
地域ブロック会議運営規則#	退職金規則	基金取扱規則
委員会運営規則#	職員慶弔規則	表彰規則
倫理委員会運営規則#	旅費規則**	謝金規則*
執行役員会運営規則		

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上